

1. 観たい映画はすぐに行け

年末の新聞で映画の予告を見た。「フィッシャーメンズ・ソング」!、シー・シャンティが続々と出てくる感じ。今となっては題名も思い出せないのだが、半年か1年かそれ以前か、同様の映画の予告を見た覚えがある。この手の映画はやはり客層に限られるのだろう、上映館も少なく、横浜で上映してたかどうかも定かでないが、時間が取れたら行こうと思っているうちに、気がついたら終映となっていた。

しかしこんどは、逃すわけにはいかない。2020年の新しい手帳、この3連休のところに書き込んだ。先週の練習日、荒津さんと話したら、彼の持つファイルには映画の切り取りが挟まれていた。一緒に行こうとも思ったが、時間調整が難しそうだし、デートでもないので、特に話しかけはしなかった。

2. コーンウォールの合唱団

この映画は「ポート・アイザック」という小さな村が舞台となっているが、このすぐ近くの「ポルペーロ」という漁村の合唱団については、20年も前に小永井さんから「こんなのあるよ、いつか行って共演したいね」という話があった(ニューズレターNo.49、2000.2.22 発行)。共演しないまでも、イギリス方面に出かけたら、ここに足を伸ばしたいと思っているうちに、日が経ってしまった。なお、記録を調べてみたら3回チャンスがあった。

合唱団はその後、縁あって2003年にオランダ・デルフザイルに、2013年にノルウェー・ベルゲンに行って、ヨーロッパのシャンティ合唱団と交流を持ったが、ある種本場のイギリスに行っていない無念さを抱えたままである。

3. 大勢が見た「歌え、フィッシャーマン」

2002年に標題の映画が上映された。当時のニューズレター(ニューズレターNo.139、2002.10.08 発行)を見ると大町さん(初代キャプテン)が見つめてきたようだ。小山田さん(T1)がすぐに観に行き、チラシを大量に入手して、その後、続々と団員が観に行った。自分も行った一人であり、感動した。

4. FISHERMAN'S FRIENDS

さて本題。映画の舞台はイングランドの南西の外れ、コーンウォール地方。歴史があって、伝統を重んじて、素朴で、港も田園風景も美しい村が、映画の中では、新しく、洗練され、高価な大都会ロンドンと対比される。

映画のモデルとなったのは、1995年創設のシャンティグループ「The Fisherman's Friends」。なので、映画の原題は、合唱団の名前となっている。この合唱団のCDは、2010年にイギリスのヒットチャート第9位にランクインし、2019年3月リリースのCDも26位を記録している。なので、イギリスでは合唱団の名前がそのまま映画の名前となったが、日本公開にあたっては「フィッシャーメンズソング:コーンウォールから愛をこめて」と、わかりやすい名前となった。



5. 登場する歌

予告編(<https://eiga.com/movie/91951/video/>などで見られます)には、「John Kanaka」「South Australia」「Drunken Sailor」が出てきます。いずれも我々が歌ってきた/これから歌う歌ですね。

映画鑑賞中に以下の曲を確認できました。解説は上映館で買ったパンフの解説(by 村尾泰郎)から引用しました。メモする予定がなかったのでパンフの表紙が走り書きで埋まりました。

Keep Hauling: 伝統的なシャンティではなく、ドイツのフォークデュオが2015年に発表した曲。Haul(進み続けろ/綱を引き続けろ)というサビのコーラスに力が入る。

Nelson's Blood: 物語の冒頭でフィッシャーメンズ・フレンズの面々が漁をしながら歌う歌。ネルソン(提督)の血はラム酒を水で割った飲み物。この曲は水夫たちの労働歌で、「ムチで打たれても痛くない」という厳しいフレーズが当時を偲ばせる。

South Australia: イギリスで幅広く知られている。

Drunken Sailor: ロンドンのパブでフィッシャーメンズ・フレンズが店の客を巻き込んで合唱する曲。世界的に有名なシャンティだからこそ、みんなで歌うことができた。

Oh You New York Girls (=Can't You Dance the Polka?): 映画「ギャング・オブ・ニューヨーク」では、スコットランド系ギャングが根城にしている酒場で歌われていた。

6. それ以外にも

「Blow the Man Down」は確認できました。歌詞は我々のものとかかなり異なっていました。「New York Girls」の歌詞はさらに異なり、上品な場に似つかわしくなく、とてもお下品な歌詞でした。映画の中にも、お下品な言葉がいくつか出てきました。もちろん私は英語を聴き取れず、字幕にそういう言葉が溢れたのです。あと少なくとも4曲ありましたが、1曲はシャンティ、3曲は他のジャンルの歌のようでした。

7. おわりに

この映画については今年の定演で紹介しようと思いますが、上映はとっくに終わってるはずなので、どうしたもんだか。

山路永司(2020/01/12 18:52 映画を反芻しながら)